

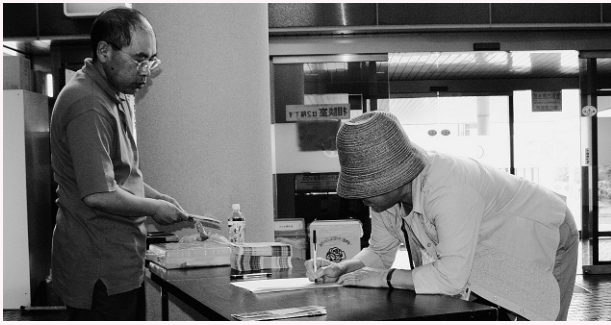
アフリカの難民の方への衣料送付

7月6日(日)、市民会館・鷺別公民館・婦人センターで、『アフリカの難民の方への衣料送付』（市・のぼりべつ国際交流会共催）が行われました。

この取り組みは例年、10・11月ころに行われていますが、北海道洞爺湖サミットのテーマの一つが『アフリカ支援』のため、サミット開催日の前日に行われました。

この日は、137人の方からダンボール223個分（3会場合計個数）の衣料などを持参していただきました。

持参いただいた衣料などは、NPO法人日本救援衣料センターを通して難民の方へ送ります。



海鮮直市



6月22日(日)・29日(日)、7月6日(日)の3日間、登別漁港屋根付岸壁で『海鮮直市』（市、登別まちづくり促進期成会、いぶり中央漁業協同組合共催）が行われました。

この3日間の『海鮮直市』は、サミット歓迎・登別温泉開湯150年記念とし、観光客や市民に対して登別漁港で水揚げされた水産物と衛生管理型施設のPRを行うために開催されました。

この日は、先着200人にエビ汁の無料提供が行われたほか、ホッキ貝やサラ貝、ボタンエビなどの水産物の直売などが行われました。

なお、海鮮直市は、10月までの毎週日曜日、JR登別駅前で行われる予定です。

アメリカ政府代表団歓迎セレモニー

7月4日(金)、北海道洞爺湖サミットのために登別温泉に宿泊しているアメリカ政府代表団の歓迎セレモニーが宿泊先のホテルで行われました。

セレモニーは、登別小学校のオニッコマーチングバンドと国歌の演奏ではじまり、上野市長が「アメリカ政府代表団を心から歓迎します。皆さんが快適に滞在することができ、仕事の成果が挙がるよう真心のお手伝いをしたいと願っています」とあいさつ。アメリカ政府代表団先遣隊代表のキンバリー・キンボールさんは、「美しい登別に歓迎いただき感謝します。特別な日である独立記念日をお祝いいただき感謝します。すばらしいセレモニーをありがとう」とあいさつし、それぞれが記念品を贈呈しました。また、登別小学校の宮越恵理奈さんと西原夢乃さんが先遣隊副代表のエドワード・ミヤギシマさんと在札幌アメリカ総領事のダーナ・ウエルトンさんに花束を贈呈しました。

セレモニーに出席した政府代表団約100人は、オニッコマーチングバンドや北海自衛太鼓の演奏に聞き入っていたほか、郷土芸能『熊舞』の披露では、カメラやビデオカメラで撮影していました。

セレモニー終了後は、記念撮影が行われたほか、登別小学校の児童にプレゼントが渡されました。



▲記念品を贈呈する上野市長

▼すてきな演奏を披露したオニッコマーチングバンドの皆さん



▲政府代表団に喜ばれた熊舞